



# ほのか診察室

## ●認知症疾患医療センターとは？

高齢化が進むとともに、認知症の方が増え、今後増加する見込みです。認知症疾患医療センターは、認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活するための支援のひとつとして、都道府県および政令指定都市が指定する病院に設置するものです。

当院は、令和2年4月から、認知症疾患医療センターとして愛知県から指定を受けました。

## ●どんなことをするの？

**・鑑別診断**  
当院の「もの忘れ外来（予約制）」を受診していただき、問診、認知機能検査、画像検査（MRIやCT）などを行い、医師の診察で総合的に診断します。

## ・専門医療相談

ご本人やご家族、関係機関（地

シリーズ  
第156話

# 認知症疾患医療センターに 指定されました

域包括支援センター・介護保険事業所など）からの認知症に関する相談に専門スタッフが対応します。

**・身体合併症・行動心理症状の対応**  
身体疾患および行動心理症状（認知症による二次的な症状として、妄想・興奮・暴言・暴力・一人で歩き回る・無気力など）の対応を行います。必要に応じて連携病院などへ紹介します。

**・専門医療・地域連携を支える人材育成**  
新城市市民病院職員および地域を支える医療・福祉・介護に従事される方に向け、認知症に関する専門的な知識の向上、認知症患者対応力向上を目指し、研修会の開催・協力・参加・情報発信に努めていきます。

## ・認知症疾患医療連携協議会の開催

地域の医療機関、域包括支援センターなどの関係機関との連携を図るため、認知症疾患医療連携協議会を開催します。東三河北部エリア（新城市・設楽町・東栄町・豊根村）の医療・福祉・介護の関係者が連携し、認知症の方やご家族の支援に繋がっていきます。



市民病院  
認知症疾患医療センター長  
脳神経外科診療部長  
あんどう かずひこ  
安藤 和彦 医師 監修

▽市民病院（代表） TEL 22・2171

## ●こんな時はご相談ください

### 専門医療相談

・認知症の方の介護について  
・認知症の症状や今後  
・認知症の方の福祉や介護サービス  
など

### もの忘れ外来

・同じ事を繰り返し言う、聞く  
・よく探し物をしている  
・時間や場所が分からなくなる  
・部屋の片付けができなくなった  
・些細な事で怒りっぽくなった  
・意欲がなく、じっとしていること  
などが多くなった  
など